

クローバー通信

～今号より、女性医師へのメッセージを各診療部長先生よりいただきます。～

「女性医師に向けて」 心臓・血管内科 井上 晃男 主任教授

第1回



昨今、内科系・外科系を問わず女性医師の数が増え、各分野でその活躍が期待されています。当院の心臓・血管内科は伝統的に最も女性医師の少ない診療科です。かつては「女性は入局おこわり」との風評まで存在したことがありました。そのような中、本年度、私が教授に就任して以来はじめて女性医師1名が入局してくれました。このことは教室にとって最も嬉しいことの1つです。

循環器診療においては、急性心筋梗塞や急性心不全、致死性不整脈などの救命・救急医療の現場がなんといっても花形でしょう。とにかく多忙です。しかしながら急性期を過ぎた後の慢性期の管理、さらには予防も極めて大切です。したがって様々なキャラクターの医師が、様々な領域で活躍できるのが循環器分野だと思います。そしてそこには女性医師による独特の細やかな感性が必要とされる場面が多々存在します。

今後女性医師が1人でも多く我々に合流してくれることを切に願っています。

ある患者さんへのアンケート調査で、男性医師または女性医師のどちらに診てもらいたいかという質問がありました。女性は9割、男性でも6割が女性医師に診てほしい、と回答したそうです。分野を問わず、わが国の医療・医学の発展のために女性医師の皆さんのさらなる活躍を期待しています。

第1回 クローバー交流会の報告

2012年3月3日、女性医師支援センタークローバー内において、第1回クローバー交流会を開催しました。循環器内科の山口すみ先生と、私呼吸器・アレルギー内科の前澤玲華が、医師としての経歴や普段の仕事、子育てにあてる時間など包み隠さず話しました。当日は出席を予定していた先生がお子さんの発熱でいられなくなるなど、子育て世代の大変さを感じましたが、最終的に医師3人、学生9人の参加をいただきました。卒業式の翌日だったにもかかわらず、たくさんの学生さんにきていただき、専門医取得に関する具体的な質問もあり、盛況に会を終えることができました。アンケート結果も好評でした。今後は実際の子育て世代の先生、これからまさに結婚・妊娠・出産を迎えようとしている先生方が参加しやすいよう工夫してまいります。



今回参加された次世代の医師が子育てしながら働ける環境を作っていけるよう、しっかりと環境を整えたいとの思いを新たにしました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。また参加希望がありながら出席できなかった方、今後出席希望のある方、次回の交流会でお待ちしています。 (女性医師支援センター 前澤玲華)

<参加者の声> 「先生方から、実際に子育てと医師を両立されている現状について、色々とお話を伺うことができ、自分の将来や、女性医師支援についてよく知ることができてよかったです。」

「子育てをしながら働いていらっしゃる先生の体験談を生で聞くことができとても新鮮でした。」

【 当センターの案内リーフレットを作成しました 】

リーフレットはクローバーに常時置いてあります。

【 育児支援に関する情報を揃えています 】

ベビーシッターやファミリー・サポート・センター等に関する情報を揃えてありますので、ぜひご利用ください。

【第2回 クローバー交流会を開催しま～す】

5月26日(土) 14:00～15:30

《ロールモデル》脳神経外科 藤山 陽子 先生

整形外科 阿久津 みわ 先生

みなさんぜひクローバーにお集まりください！